

昨年 12 月 25 日、母・花井君子が出直した。享年 91 歳だった。8 年前、誤嚥性肺炎で一度は諦めかけた生命を頂いた。一命を取り止めたものの母の介護はだんだんと大変になっていった。母の母親である祖母が亡くなって母の認知症はどんどん進んでいった。それでもショートステイやデイケア等の介護老人保健施設の利用でどれだけ救って頂いたかわからない。ただ、自宅での介護はやった人しかわからない苦労も、妻だけではなく子供、そして私自身も手伝わざるをえない状況になっていった。高熱や施設での転倒、病院の入退院、通院を繰り返す中、「この介護はいつまで続くのか？」と心が折れかかるときもあった。毎日慌ただしい生活の中、母の介護も限界を感じ、次の段階を考えざるを得ない中で静かに出直していかれた。「充分お世話はさせて頂いた」と同時に「もっと、こうしてあげれば良かった」と一抹の後悔と淋しさは残る。そんな時、部屋の冷蔵庫の前の「手紙～親愛なる子供たちへ～」(原作詞：不詳、日本語詞：角智織、補作詞：樋口了一、作曲：樋口了一)を見つけた。

母の出直し



年老いた私が、ある日、今までの私と違っていたとしても
どうかそのままの私のことを理解して欲しい
私が服の上に食べ物をこぼしても 靴ひもを結び忘れても
あなたに色んなことを教えたように見守って欲しい
あなたと話す時 同じ話を何度も何度も繰り返しても
その結末をどうかさえぎらずにうなずいて欲しい
あなたにせがまれて繰り返し読んだ絵本のあたたかな結末は
いつも同じでも私の心を平和にしてくれた
悲しい事ではないんだ 消え去ってゆくように
見える私の心へと 励ましのまなざしを向けて欲しい
楽しいひと時に 私が思わず下着を濡らしてしまったり
お風呂に入るのをいやがるときには思い出して欲しい
あなたを追い回し 何度も着替えさせたり 様々な理由をつけて
いやがるとお風呂に入った 懐かしい日のことを
悲しいことではないんだ 旅立ちの前の
準備をしている私に 祝福の祈りを捧げて欲しい
いずれ歯も弱り、飲み込む事さえ出来なくなるかも知れない
足も衰えて立ち上がる事すら出来なくなったなら
あなたが 弱い足で立ち上がろうと私に助けを求めたように
よろめく私に どうかあなたの手を握らせて欲しい
私の姿を見て悲しんだり 自分が無力だと思わないで欲しい
あなたを抱きしめる力がないのを知るのはつらい事だけど
私を理解して 支えてくれる心だけを持っていて欲しい
きっとそれだけでそれだけで私には勇気がわいてくるのです
あなたの人生の始まりに私がしっかりと付き添ったように
私の人生の終わりに少しだけ付き添って欲しい
あなたが生まれてくれたことで私が受けた多くの喜びと
あなたに対する変わらぬ愛を持って笑顔で答えたい
私の子供たちへ
愛する子供たちへ

厚生労働省の推計によると 2025 年には 65 歳以上の高齢者の約 5 人に 1 人が認知症になると予測されています。身近な年寄りに対する心づかいも現実問題となっていくのでしょうか。

「子供叱るな来た道だもの 年寄り笑うな行く道だもの」

これは永六輔の著書『大往生』で紹介された言葉ですが、母の出直しを通してつくづくこの言葉の重みを感じています。

〔教会長 花井基弘〕

うちわけ会 おぢばがえり



教祖140年祭

信仰の喜び
おたすけの喜びを
教祖のもとへ



強調月間 令和7年 立教188年 6月及び11月

私達は只今、教祖百四十年祭へ向かう三年千日の日々を、にをいがけ・おたすけに励まさせていただいています。そしていよいよ来年は、年祭活動仕上げの年を迎えます。

高安大教会の理に繋がるお互いが、うちわけ会として一手一つに協力することを通して、各教会が定めた活動目標の達成を目指し、ご期待くださる教祖の親心に何としてもお応えさせていただきたいという上から、「うちわけ会 おぢばがえり」をつとめさせていただきたいと存じます。

明治15年6月18日、松村さく様おたすけのため松村家にお入り込みくだされた教祖は「ここは詣り場所になる。打ち分け場所になるのやで。」と、尊きうちわけ場所の理をお許し下されました。

うちわけ場所とは、「ぢばの理を打ち分けていく場所」と悟ることが出来ます。おぢばは、人々がたすけていただける元の場所であり、その理を打ち分けていくことが、教祖のご期待であり、うちわけ場所に縁のある私たちの使命（つとめ）だと思います。

教祖百四十年祭三年千日は、たすけの旬、たすかる旬、そして成人の旬です。各位におかれましても、たすけ一条にお励みのことと存じます。その力を一層結集して年祭活動仕上げの旬に相応しく、うちわけ会に関係ある全教会が一手一つになって、おぢばへ、家族揃って、また一人でも多くの人をお連れして帰らせていただきます。そしてまた新たにたすかる種をいただき、それを打ち分けていこうではありませんか。

おぢばがえり強調月間 立教188年 6月及び11月

※強調月間中の毎土日及び祝日の一部を強調日とし、うちわけ会で揃って午前11時半より東礼拝場でお礼のおつとめをつとめさせていただきます。また、おやさとかた東棟西側のひのきしんを午前9時半から午後2時半までつとめさせていただきます。

立教187年8月25日

うちわけ会

天理教愛昭分教会四代会長 花井 君子 先生

昨年12月25日にお出直しになりました。

享年91歳。

28日17時より「みたまうつし」、翌29日10時より「告別式」が上級南愛分教会長様斎主のもと執り行われ、年の瀬が迫る厳しい寒さも厭わず、会葬者はそれぞれの思いを胸に最後のお別れを申し上げました。



今後の主な行事

▶ 御本部春季大祭バス団参

【日時】1月26日（日）教会7:15 / 名駅8:00

【参加御供】3,500円

※マイクロバス

▶ 四代会長 花井君子之霊様50日祭

【日時】2月2日（日）9:30

▶ 働くようぼくの集い

【日時】2月9日（日）17:00

【場所】愛昭分教会拝殿

▶ 二月 月次祭

【日時】2月20日（木）10:00 執行

【上級】会長様

※大教会巡教

▶ にをいがけ実動

【日時】2月22日（土）10:00

【発行】天理教愛昭分教会 【編集】Heart & Heart 編集部
〒464-0802 名古屋市千種区星が丘元町4番11号
愛昭分教会公式ホームページにてWeb版Heart & Heartを公開しています。 ホームページ ▶▶ <http://aisho.org> ▶▶

